

令和6年3月26日 (令和5年(2023年)度第62号)

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会事務局



全国保育士会委員ニュース

〒100-8980
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-6503
FAX 03-3581-6509
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp
<http://www.z-hoikushikai.com>

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

ホームページで、こども家庭庁による

<ニュースの内容>

「こども誰でも通園制度(仮称)」説明会 動画を公開中！(3月31日まで)

- 能登半島地域で勤務可能な保育職員等の募集について (福サポいしかわ)
- 令和6年能登半島地震に係る保育関係の災害対応について(周知(その9))が発出される(こども家庭庁)
- ふくし未来塾(第4期)の開講のご案内(全社協 中央福祉学院)

■ 能登半島地域で勤務可能な保育職員等の募集について(福サポいしかわ)

令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」の影響により、石川県内の福祉施設の職員が大幅に不足しています。

石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター「福サポいしかわ」では、職員の不足が特に深刻な能登半島地域の福祉施設で勤務(就職)可能な方(保育士・介護職員など)を募集しており、こども家庭庁を通じて周知依頼がありましたのでお知らせいたします。

能登プロジェクト
能登半島地域で勤務していただく
介護職・保育職
のみなさまを募集しています

#能登のために

◆令和6年1月に発生した「能登半島地震」の影響により、石川県内の福祉施設の職員が大幅に不足しています。
◆石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター「福サポいしかわ」では、職員の不足が特に深刻な能登半島地域で勤務していただく**介護職(介護士・ケアマネ)**のみなさまを募集しています。
【対象施設:七尾市・輪島市・珠洲市・志賀町・穴水町・能登町】
◆福サポいしかわの専門スタッフが丁寧に対応いたします。お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ
石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター「福サポいしかわ」
(社会福祉法人 石川県社会福祉協議会)
TEL:076-234-1151 (休務日:土・日・祭日を除く 午前9時～午後6時)
E-mail: fukusapo@isk-shakyo.or.jp

詳細、応募は
こちらから

【募集職種】 保育士・介護職員など

【勤務場所】 七尾市・輪島市・珠洲市・志賀町・穴水町・能登町に所在する保育・高齢・障害等の福祉施設・事業所

【応募方法】 特設ページ (<https://www.ishi-fuku.jp/noto/>) から応募

① 資格情報・条件等を登録

※登録者の氏名・連絡先や所持している資格のほか、希望職種・分野や勤務形態、希望賃金等を登録します。



② 登録内容に照らし、「福サポいしかわ」より提案できる施設・事業所について連絡

【問合せ先】 福サポいしかわ（石川県福祉の仕事マッチングサポートセンター）

TEL : 076-234-1151

詳細は別添資料をご参照ください。

■ 令和6年能登半島地震に係る保育関係の災害対応について(周知)(その9)が発出される(こども家庭庁)

令和6年3月26日にこども家庭庁より表記事務連絡が発出されました。これは、令和6年能登半島地震の発災以降に発出されている事務連絡について追加事項を周知するものです。

今回の事務連絡では、「公立保育所等の保育士等による被災地の保育所等への派遣について」、「保育所等への保育士等の派遣要望について」示されています。

本事務連絡において、地方自治法に基づき、他地域の公立の保育所等の保育士による、被災地の保育所等への派遣の仕組みを構築することが示されました。現在は保育所等の運営が戻っていく過渡的な期間であることを踏まえ、運営が戻るまでの間に保育士の派遣を一定期間行うことが望ましいと考えられることから、月単位程度を前提とした派遣を行うとしています。対象地域としては石川県能登6市町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、七尾市、志賀町）の保育所等となり、保育士の他、市町村の行政事務を行う事務職員の派遣も対象とされます。

なお、この派遣の受け入れに要する経費（人件費、旅費及び宿泊費等）に対して特別交付税措置が講じられるとされています。

また、この仕組みにより派遣される公立の保育士については、被災地の公立の保育所等のほか、私立の保育所等において業務支援を行うことも考えられることから、その場合の留意点も示されています。

今般の仕組みについては今後、各都道府県において派遣可能な保育士等の登録要請がなされる予定です。

詳細は添付 PDF 資料をご参照ください。

ふくし未来塾(第4期)を開講します

2040年に向け、超高齢社会、少子化、人口減少が大きく進展するとともに地域生活課題、福祉ニーズが多様化・複雑化し、一層厳しさを増しています。

こうした背景を踏まえ、全国社会福祉協議会では、社会福祉の制度の枠を超え、地域コミュニティにおいて共生社会の創造をけん引する、社会福祉法人のトップリーダー・経営人財を育成するべく、令和3年10月から「ふくし未来塾」を実施し、この度第4期を開講します。

ふくし未来塾の理念は、「全社協福祉ビジョン2020」がめざす「ともに生きる豊かな地域社会」を実現するために、公益性と非営利性を基本とする社会福祉法人のトップリーダー・経営人財の育成を見据えて、社会が必要とする社会福祉実践の理論と実践の実学とともに、実務家の資質に必要とされる倫理的価値観の形成と人間力を涵養することとしています。

令和6年度中の1年間を受講期間として、前期プログラム(開講式及び演習等の集合形式)、後期プログラム(定期のオンライン演習)、通期プログラム(オンラインによる動画視聴とレポート提出)のカリキュラムを予定しています。

受講料は119,900円(消費税等込)で、定員は40名です。応募者(入塾資格:社会福祉法人の役職員であり、法人からの推薦があること)から選考により入塾者を決定します。

募集内容の詳細は、全社協・中央福祉学院「ふくし未来塾」ホームページをご参照の上、ホームページに掲載の申込フォームよりご応募ください(応募締切:4月30日(火)17時(予定))。

「ふくし未来塾」ホームページ <https://www.gakuin.gr.jp/training/miraijuku/>

〈お問い合わせ先〉 中央福祉学院 TEL. 046-858-1355